

第2次中期経営計画

〔期間：令和元年～3年度(2019年～2021年度)〕

地域農業
振興戦略



組織基盤
強化戦略

経営基盤
強化戦略



JA会津よつば

J A会津よつば 第2次中期経営計画

(テーマ)

～未来に続く農業と夢あるふるさと会津をつくろう～

[令和元年～令和3年度(2019～2021年度)]

◆次期3か年計画の策定にあたって◆

J A会津よつばは、合併事業計画に基づき、合併効果を最大限に発揮すべく、鋭意事業運営に取り組んでまいりました。特に、この3年間で農畜産物の販売促進の面で顕著な成果を見せた新しい取り組み、あるいは重点振興作物がかつてない販売高を達成するなど、合併による最大のメリット発揮であると各方面から評価を得ております。

しかしまた、この3年間で、地区ごとの旧来からの事業方式等の根深い相違が明らかになったこと、そしてメガバンクが大幅な合理化を決定したことや地方銀行の相次ぐ合併計画が発表されるなど、金融情勢のかつてない深刻な悪化については、合併前には想定できないものでした。

特に金利政策と連動した金融情勢の悪化については、新しい自己資本規制とも関連し、農林中金をはじめとするJ A信用系統においても甚大な影響をこうむる見通しとなりました。このことは、社会情勢や経済状況の変化が、即時対応できないほど深刻であり急激であるという現代に特有の本質的な現象であるといえます。

また、これだけではなく、政府のいわゆる「農協改革」への一連の対応も必要とされます。地域農業を守り発展させていく使命を持つJ A、この活動を制限するような圧力が常に働く中での事業改革となることから、より一層組合員の自主的な協同組合を守る運動につながるような、躍動感ある自己改革を同時になしとげて行く必要があります。

このような中で、J Aの今後の事業運営の在り方についても、今までにない根本的な改革がもてられていることを認識する必要があります。その上で、より大きな状況の変化に耐え得るような体制と仕組みを構築する必要があります。

第2次中期経営計画は、厳しい環境認識のもと、大改革をやり遂げる中期計画です。

II 基本理念とJAビジョン

| | |
|--------|---|
| 基本理念 | JAのめざすもの JAの目的と価値観 |
| | <p>会津の豊かな自然と文化を守り 夢と活力のある農業と 安心して暮らせる地域社会の実現をめざします</p> |
| JAビジョン | 基本理念を実現するためのあるべきJAの姿 |
| | <p>1 事業は地域により密着、販売と情報は全国・世界へ拡げます 2 時代を拓く「農」の形と可能性を絶えず追求します 3 組合員・地域の人々に必要とされる質の高いサービスを提供します</p> |

III 中期経営計画の基本方針と全体戦略

1. 3か年中期経営計画の基本テーマ

JA会津よつばは、今まで以上に地域農業の発展と農家の所得向上^①に貢献できる経営基盤の強化と安定した収益力を確立^②し、地域に根差した協同組合として地域の活性化^③にも大きく寄与して行くことを次期中期経営計画の基本テーマに据え、第40回JA福島大会決議も受けて、3つの重要戦略を設定し取り組んでまいります。 注：①「地域農業振興戦略」②「経営基盤強化戦略」③「組織基盤強化戦略」

| | |
|----------|--|
| 地域農業振興戦略 | 5年後、10年後も、夢と誇りを持って元気に農業を続ける地域づくり |
| | <p>「地域農業振興計画」において4つの柱を設定し、その打ち手として7つの事業モデルに取り組みで参ります。7つの具体的実践事項を3か年の中期経営計画に落とし込みました。</p> <p>[4つの“柱”づくり]</p> <p>① 産地づくり ② 人づくり ③ 里づくり ④ 地域づくり</p> |
| 組織基盤強化戦略 | 地域農業を振興するため多くの組合員が集い参加するJA運動の展開 |
| | <p>准組合員の「農業振興の応援団」を基軸としたメンバーシップ強化対策と「第2次JA会津よつば地域くらし戦略」に基づいたJAくらしの活動に積極的に取り組みます。</p> <p>[2つの“絆”づくり]</p> <p>① 「農業振興の応援団」づくり ② “あんしん”と“つながり”の「くらし」づくり</p> |
| 経営基盤強化戦略 | 地域農業と組合員を守る強固なJA経営の実現 |
| | <p>総合事業経営を継続し、総合JAメリットの効果的な発揮により今までの収支構造を抜本的に改革し、事業モデルの転換を目指します。この取り組みの中で急激な環境変化にも素早く対応出来る適応性と今後一層求められる内部統制力を装備して参ります。</p> <p>[4つの“力”づくり]</p> <p>① 「総合力」づくり ② 「収益力」づくり ③ 「適応力」づくり ④ 「統制力」づくり</p> |